

動画文字起こし・テロップ編集アプリ

使い方ガイド（画面付き詳細版）

creator7
creator7.jp
creator7.jp@gmail.com

社会貢献を軸に、Android／Windows デスクトップアプリを開発しています。

目次

1. はじめに
2. セットアップ（動作環境）
3. 画面の見かた
4. 基本的な使い方
5. Windows 実行ファイル（.exe）について
6. トラブルシューティング
7. お問い合わせ

> 💡 本ガイドの画面画像は、説明のためのサンプル動画・サンプル発言を使って撮影したものです。実際の画面のレイアウトと機能は同一です。

© creator7 ／ creator7.jp

1. はじめに

本アプリは、動画ファイルを読み込むだけで発話内容を自動で文字起こしし、話者ごとの色分け、テロップ（字幕）の焼き込み、吹き出し画像の作成、ショート動画の切り出しまでを1つのデスクトップアプリで行えるツールです。

主な機能は以下の通りです。

- 動画全体の自動文字起こし（発話は検出され次第リアルタイムに一覧表示）
- 声の音程・トーン・声色から話者を自動判別する話者分離
- 発言ごとに編集できるテロップ（フォント／サイズ／色／表示可否）
- 発話時のフレームに吹き出しを合成した画像の書き出し
- テロップを焼き込んだ動画の書き出し
- 選択した発言を起点にしたショート動画の自動切り出し（複数選択対応）
- 作業内容をファイルに保存し、後から読み込んで再開できるプロジェクト機能

2. セットアップ（動作環境）

2.1 必要なもの

- Windows PC（Python 環境または exe 版のどちらか）
- ffmpeg / ffprobe（動画・音声の処理に使用。別途インストールが必要）
- インターネット接続（文字起こしモデルの初回ダウンロード時のみ）

2.2 Python 環境で使う場合

アプリのフォルダで以下を実行して、必要なパッケージをインストールしてください。

```
pip install -r requirements.txt
```

その後、以下のコマンドで起動します。

```
python main.py
```

2.3 exe 版（Python 不要）で使う場合

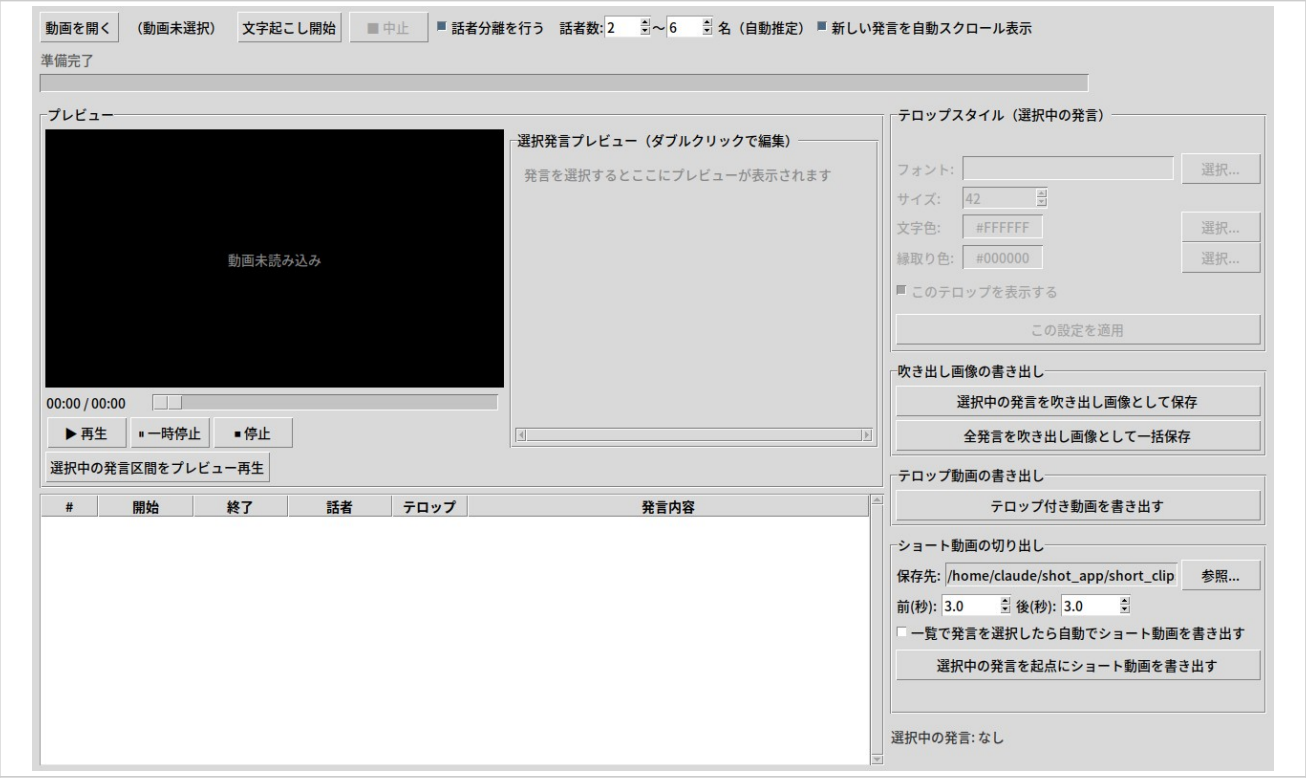
Python が入っていない PC でも、配布されたフォルダの中の VideoTranscribeApp.exe をダブルクリックするだけで起動できます。フォルダごとコピーして使用してください。

> 💡 exe 版でも ffmpeg／ffprobe は別途必要です。詳しくは「5. Windows 実行ファイル（.exe）について」をご覧ください。

© creator7 ／ creator7.jp

3. 画面の見かた

起動直後（動画未読み込み）の画面全体です。上から順にツールバー・進捗バー・プレビューエリア・文字起こし一覧・右側パネルという構成になっています。



起動直後の画面全体

3.1 ツールバー（上部）

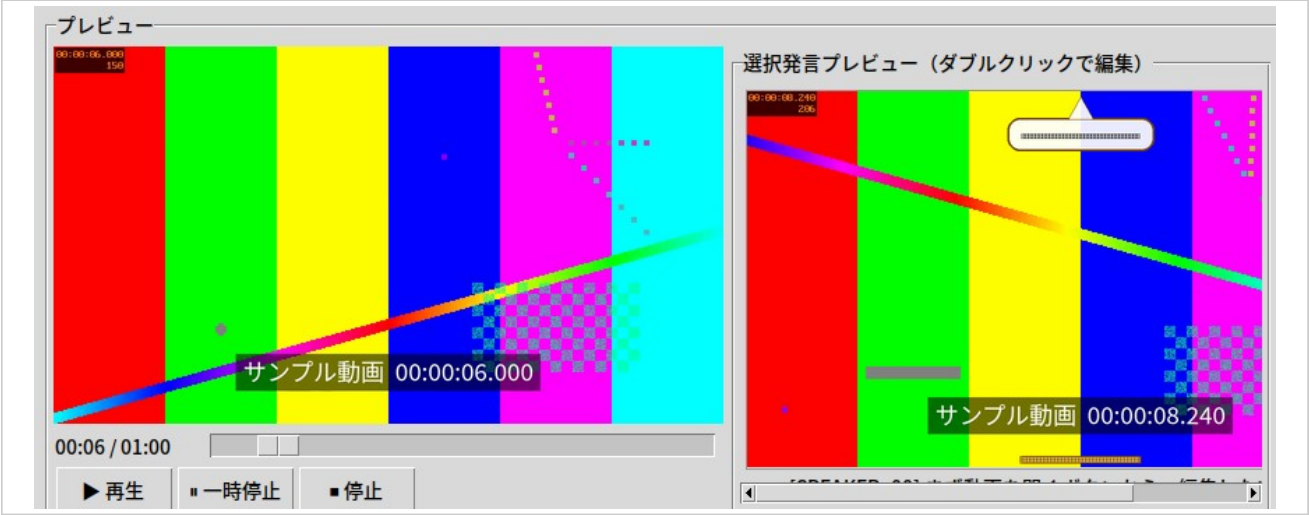


ツールバー：動画を開く／文字起こし開始／中止／話者分離設定／自動スクロール

- 動画を開く：文字起こし対象の動画ファイルを選択
- 文字起こし開始／■中止：処理の開始と、処理中の途中停止
- 話者分離を行う／話者数：話者の人数（最小～最大）を指定して自動推定
- 新しい発言を自動スクロール表示：一覧の自動追従の ON/OFF
- ファイルメニュー：プロジェクトの保存・読込み（Ctrl+S／Ctrl+O）

© creator7 ／ creator7.jp

3.2 プレビューエリア（中央上部）



左：動画プレビュー／右：選択発言プレビュー（吹き出し・テロップ合成表示）

- 左側：動画プレビュー（再生／一時停止／停止／シークバー）
- 右側：一覧で選択中の発言の画像プレビュー（吹き出し・テロップ合成表示、ダブルクリックで直接編集）

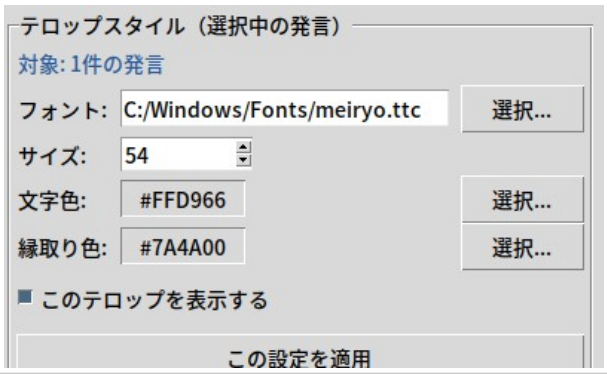
3.3 文字起こし一覧（左下）

#	開始	終了	話者	テロップ	発言内容
0	00:00.50	00:03.20	SPEAKER_00	表示	今日はこの動画文字起こしアプリの使い方について説明します。
1	00:03.60	00:05.40	SPEAKER_01	非表示	よろしくお願いします。
2	00:06.00	00:10.50	SPEAKER_00	表示	まず動画を開くボタンから、編集したい動画ファイルを選択して
3	00:11.00	00:13.00	SPEAKER_01	表示	はい、選択しました。
4	00:13.50	00:18.00	SPEAKER_00	表示	次に文字起こし開始ボタンを押すと、発言が検出され次第リアル
5	00:18.50	00:20.50	SPEAKER_01	表示	リアルタイムで見えるのは便利ですね。
6	00:21.00	00:26.00	SPEAKER_00	表示	話者分離もオンにしておくと、声の音程やトーンから自動で話者
7	00:26.50	00:30.00	SPEAKER_01	表示	話者ごとに色分けもできるんですか。
8	00:30.50	00:35.50	SPEAKER_00	表示	はい、右側のテロップスタイルからフォントや色を発言ごとに設

一覧：開始／終了時刻・話者・テロップ表示／非表示・発言内容

検出された発言が、一覧表示されます。Ctrl+クリックや Shift+クリックで複数選択できます。

3.4 右側パネル



テロップスタイル：フォント／サイズ／文字色／縁取り色／表示可否

- テロップスタイル：フォント／サイズ／文字色／縁取り色／表示可否の編集
- 吹き出し画像の書き出し
- テロップ動画の書き出し
- ショート動画の切り出し（保存先・前後秒数・自動書き出しの設定）

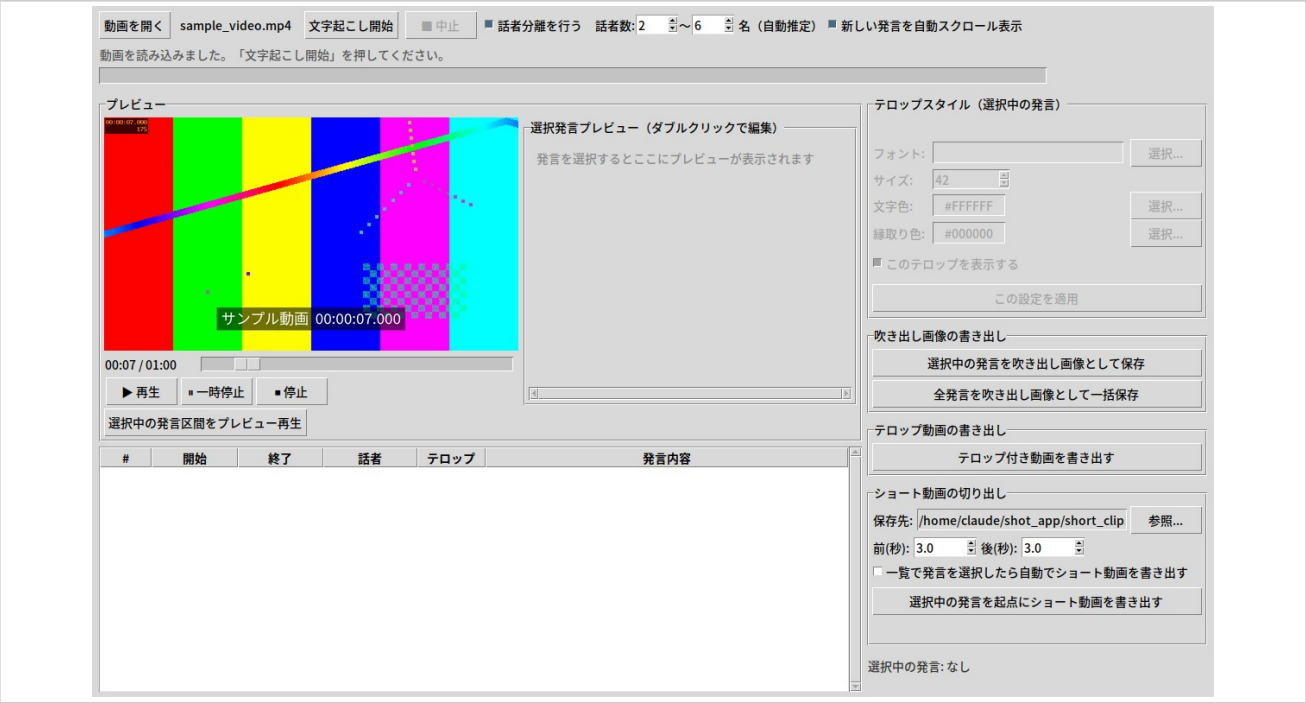
© creator7 ／ creator7.jp

© creator7 ／ creator7.jp

4. 基本的な使い方

STEP 1 動画を開く

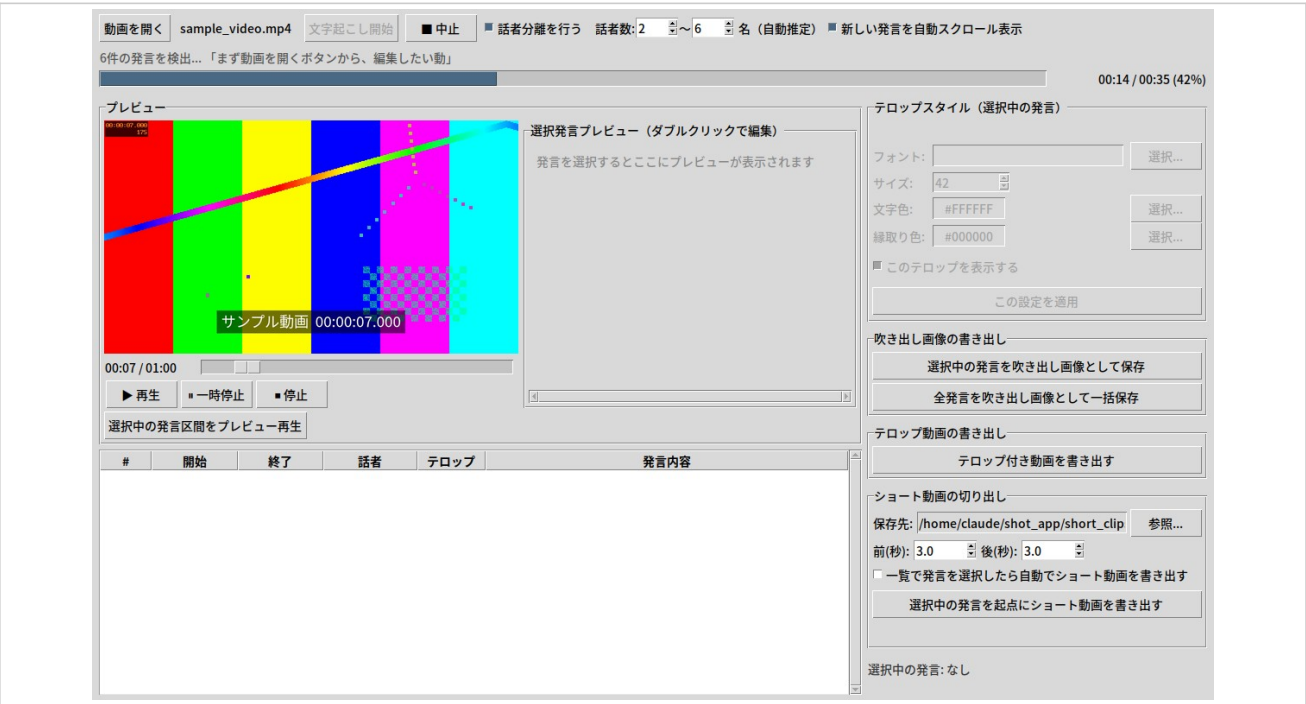
ツールバーの「動画を開く」から文字起こし対象の動画ファイル（mp4/mov/mkv/avi）を選択します。読み込みが完了すると、左側のプレビューにその動画の映像が表示されます。



動画を読み込んだ直後の画面

STEP 2 文字起こしを実行する

「話者分離を行う」のチェックと話者数の範囲を確認し、「文字起こし開始」を押します。発話は検出され次第、完了を待たずに一覧へ表示されます。進捗バーで処理状況（現在位置／全体の長さ／パーセント）を確認できます。処理を途中で止めたい場合は「■中止」を押してください。



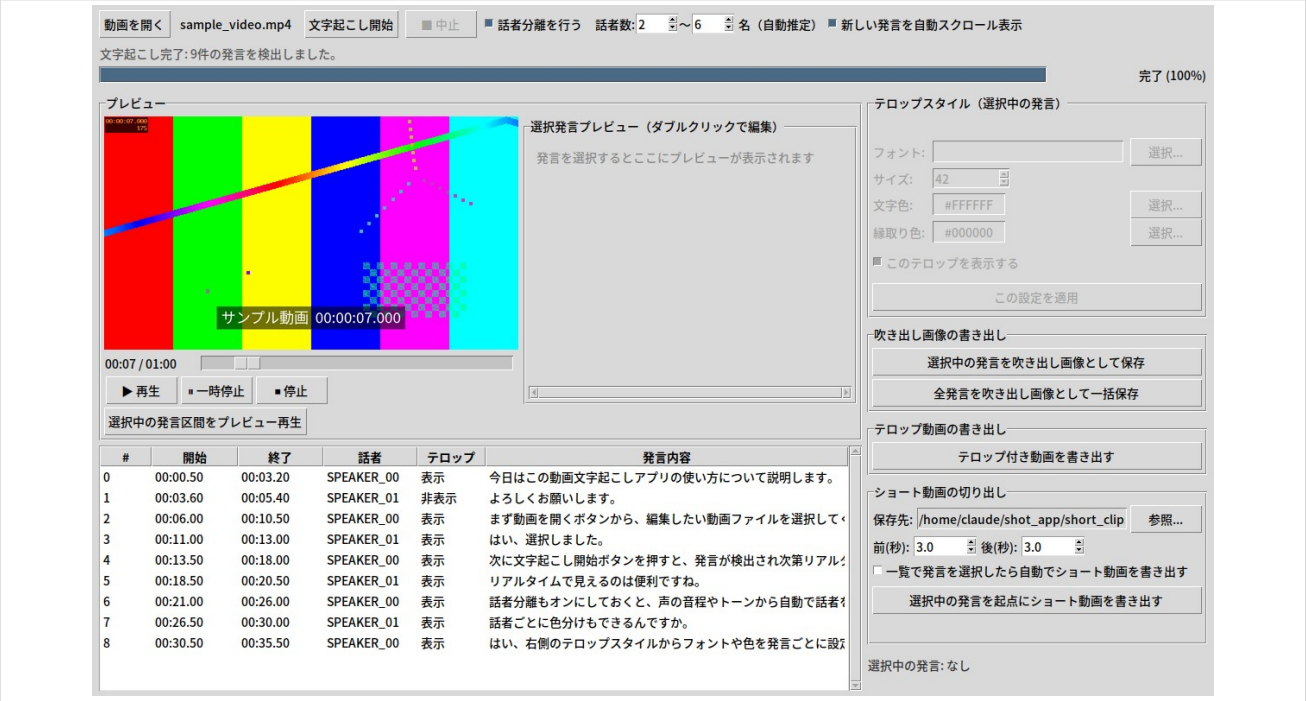
文字起こし実行中の画面（進捗バーとステータス表示）

STEP 3 話者分離について

話者の判別は、発言ごとの声の音程（Pitch）・トーン・声色（MFCC）という音響的な特徴から自動的に行われます。登場人物の人数が分かっている場合は、あらかじめ「話者数」の範囲を絞っておくと精度が安定します。

STEP 4 文字起こし内容を編集する

一覧の発言テキストや話者名はダブルクリックで編集できます。「テロップ」列をダブルクリックすると、その発言のテロップ表示／非表示を切り替えられます（下の例では 2 行目が「非表示」に設定されています）。

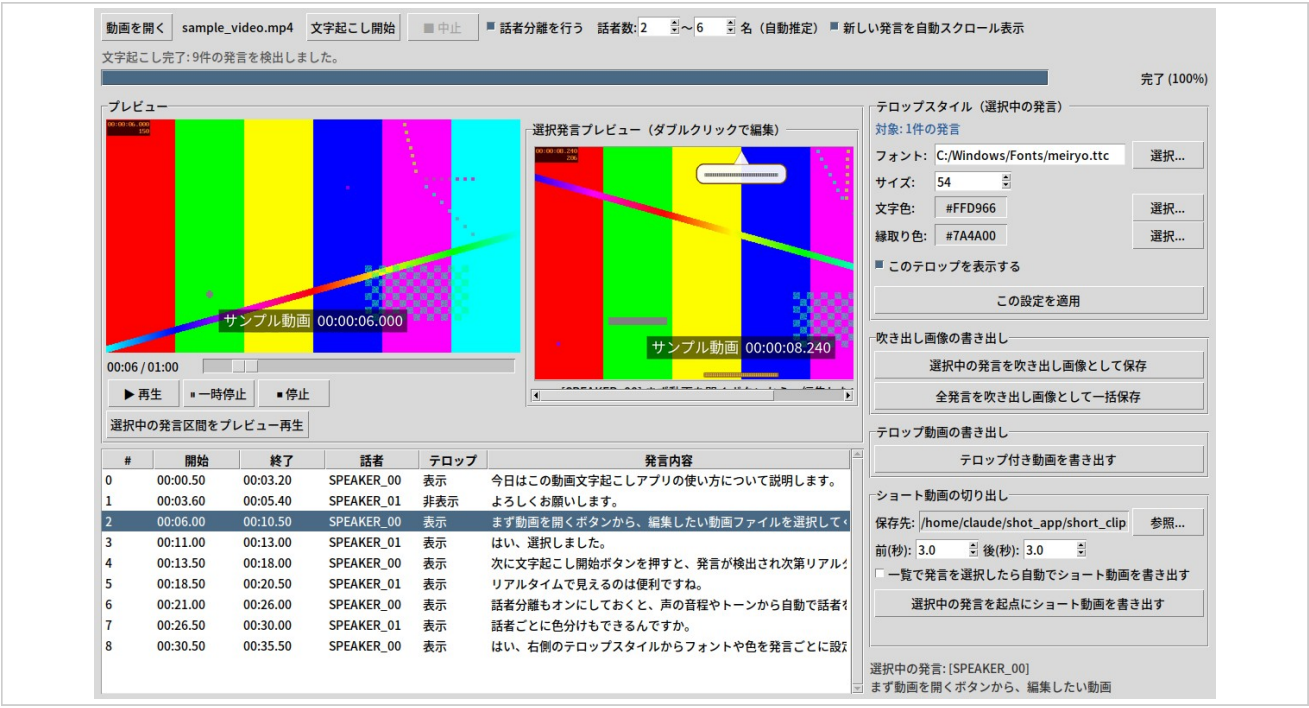


文字起こし完了後の一覧（9 件の発言が検出された状態）

STEP 5 テロップのスタイルを設定する

一覧で発言を選択すると、右側の「テロップスタイル」にその発言（複数選択時は選択中の全件）の現在の設定が表示されます。フォント・サイズ・文字色・縁取り色を変更し「この設定を適用」を押すと反映されます。下の例では、3 行目の発言に黄色・54pt のテロップスタイルが設定されています。

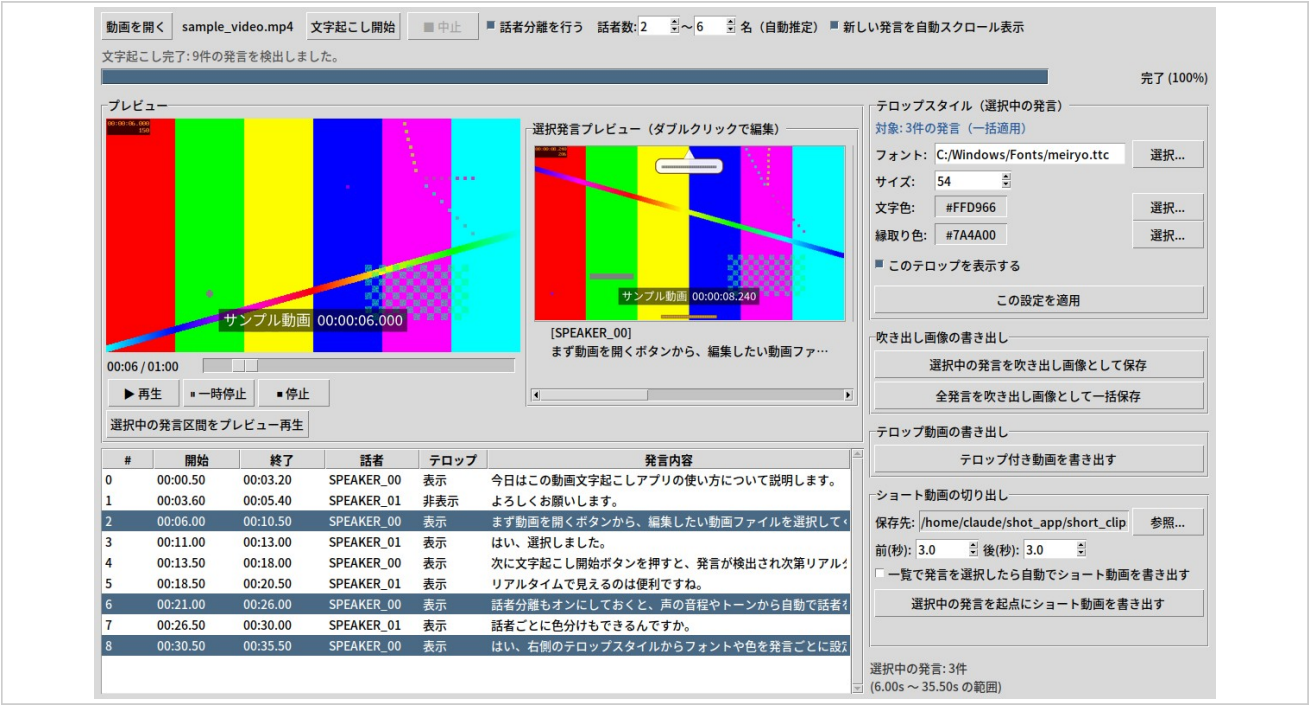
© creator7 ／ creator7.jp



1 件選択時：右上にプレビュー、右側にそのテロップ設定が表示される

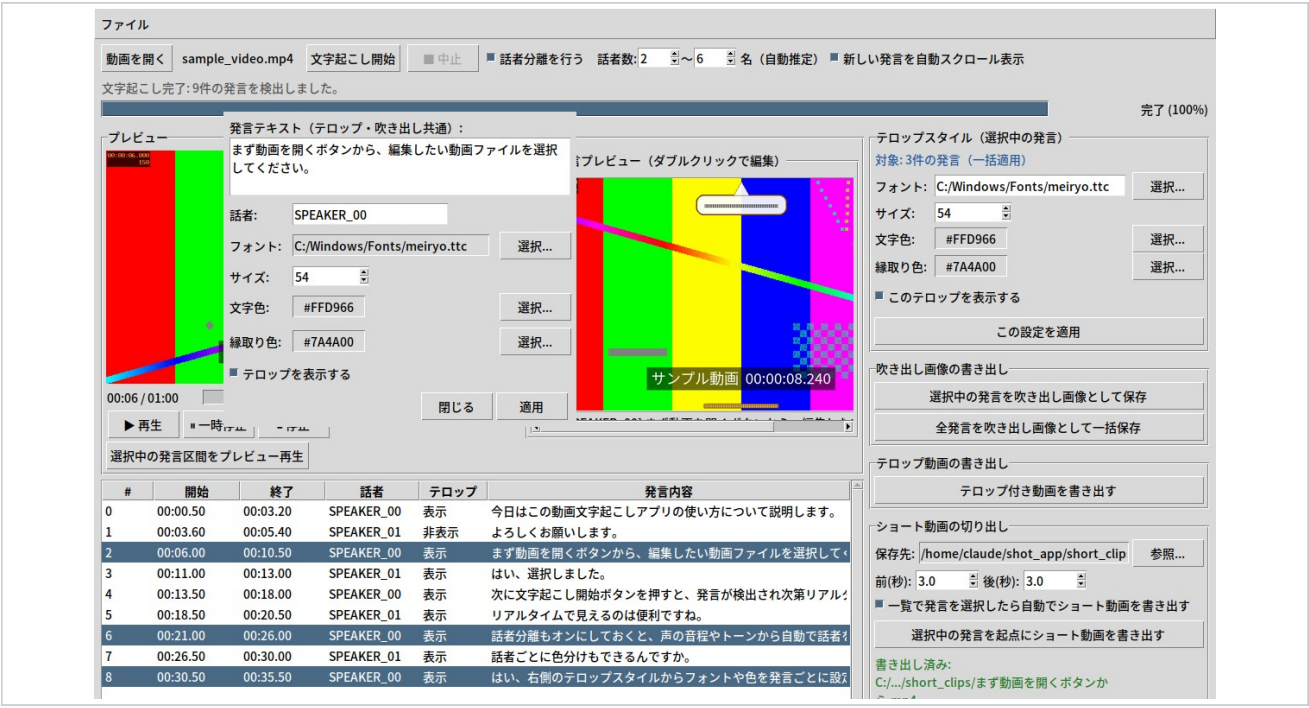
STEP 6 プレビューで確認・直接編集する

プレビューエリア右側には、選択中の発言に吹き出しとテロップを合成した仕上がりイメージが表示されます。複数選択時は選択数に応じてサムネイルが自動縮小され、横に並んで表示されます（多い場合は横スクロール）。画像をダブルクリックすると、その場でテキストやテロップスタイルを直接編集できるダイアログが開きます。



複数選択時：選択した発言の数だけプレビューが表示される（一括スタイル適用も可能）

© creator7 ／ creator7.jp



プレビュー画像をダブルクリックすると開く直接編集ダイアログ

STEP 7 吹き出し画像を保存する

発言を選択し「選択中の発言を吹き出し画像として保存」を押すと、発話時のフレームに吹き出しを合成した画像が保存されます。「全発言を一括保存」も利用できます。

STEP 8 テロップ付き動画を書き出す

「テロップ付き動画を書き出す」を押すと、設定したスタイルを反映したテロップ入りの動画が生成されます。進捗バーで書き出し状況（%）を確認できます。

STEP 9 ショート動画を切り出す

保存先フォルダと前後の秒数を設定し、切り抜きたい発言を一覧から選択します。「一覧で発言を選択したら自動でショート動画を書き出す」を ON にしておくと、選択するだけで自動生成されます（複数選択時はまとめて生成）。ファイル名は発言テキストから自動生成されます。



ショート動画の切り出し欄：保存先・前後秒数・自動書き出し設定

STEP 10 プロジェクトを保存・読み込む

作業の途中でも完了後でも、「ファイル」→「プロジェクトを保存」（Ctrl+S）でその時点の内容を保存できます。「プロジェクトを開く」（Ctrl+O）で読み込めば、続きから作業を再開できます。



「ファイル」メニュー：プロジェクトの保存・読込み

5. Windows 実行ファイル（.exe）について

Python 環境がない PC に配布する場合は、開発元でビルドした exe 版フォルダをそのままコピーしてください。

- フォルダ内の VideoTranscribeApp.exe をダブルクリックして起動します
- フォルダの中身は削除・分割せず、フォルダごと配布してください
- ffmpeg.exe／ffprobe.exe が同じフォルダに無い場合は、配布先 PC に別途インストールし PATH を通してください
- 文字起こしモデルは初回起動時にダウンロードされるため、初回はインターネット接続が必要です

6. トラブルシューティング

エラー内容	対処方法
ffmpeg が見つからない／実行できない	ffmpeg・ffprobe をインストールし、PATH を通してください。
No module named 'librosa' 等	pip install -r requirements.txt を再実行してください。
話者がすべて同じラベルになる	「話者数」の範囲を実際の登場人物数に近づけて再実行してください。
テロップのフォントが反映されない	テロップスタイルでフォントファイル（.ttf 等）を選び直してください。
書き出し先が見つからない	ショート動画欄の「参照...」で保存先フォルダを確認・変更してください。

© creator7 ／ creator7.jp

7. お問い合わせ

creator7
Web サイト：creator7.jp
お問い合わせ：creator7.jp@gmail.com

本アプリに関するご要望・不具合報告はお気軽にご連絡ください。

© creator7 ／ creator7.jp